



令和5年6月30日

枚方寝屋川消防組合

全国大会出場を目指して！

消防救助隊員が訓練を披露します！

枚方寝屋川消防組合では、令和5年7月22日（土）に大阪市高度専門教育訓練センターで開催される第51回消防救助技術近畿地区指導会に向け、消防救助隊員が訓練を重ねてきた成果を披露します。

1 実施日及び実施場所

(1) 水上の部

日時：令和5年7月10日（月）10時30分～11時30分

場所：枚方東消防署訓練用プール（枚方市津田北町2-23-3）

(2) 陸上の部

日時：令和5年7月14日（金）10時30分～11時30分

場所：寝屋川消防署訓練施設（寝屋川市池田2-11-73）

2 内容

(1) 水上の部

基本泳法、溺者搬送、溺者救助、人命救助、水中結索

隊員 13人

(2) 陸上の部

引揚救助、ロープブリッジ救出、障害突破

隊員 28人

3 市民の皆さまへ

日頃の訓練成果を、市民の皆さまに披露させていただきます。市民の皆さまの多数のご見学をお待ちしております。

※訓練会場には駐車場はございません。公共交通機関もしくは自転車でお越しください。



【問い合わせ先】

枚方寝屋川消防組合

警防課 TEL 072-852-9919

企画戦略課（広報） TEL 072-852-9906

訓練種目について

水上の部

基本泳法

「じゅんか飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ25メートルずつ泳ぐ。

水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練です。

溺者搬送

2人1組（要救助者を含む。）で救助者が「じゅんか飛び込み」で入水後、要救助者（溺者）を注視しながら近づき、チンプールで確保した後、ヘアキャリーにより救助する訓練です。

溺者救助

3人1組（要救助者を含む。）で救助者と補助者の2人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をプール内へ投下して、救助者が20メートル先の要救助者の位置まで浮環を搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する訓練です。

人命救助

3人1組（要救助者を含む。）で救助者が「二重もやい結び」のロープをたすき掛けにして要救助者の位置まで泳ぎ、要救助者をクロスチェストキャリーで確保し、補助者が救助ロープをたぐり寄せて救助した後、再び水没しつつある要救助者（訓練人形）を水面に引き揚げ、救助する訓練です。

水中結索

3人1組で水中の結索環に、第一泳者「もやい結び」、第二泳者「巻き結び」、第三泳者「ふた回りふた結び」の三種類のロープを行い、水中におけるロープ結索技術を習得するための訓練です。



陸上の部

引揚救助

5人1組（要救助者を含む。）で2人が空気呼吸器を着装して塔上から塔下へ降下し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、4人で協力して塔上へ救出後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール等での災害を想定した訓練です。

ロープブリッジ救出

4人1組（要救助者を含む。）で2人が水平に展張されたロープ（20メートル）により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げてけん引して救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを想定した訓練です。

障害突破

5人1組（補助員を含む。）で4人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」、「登る」、「渡る」、「降りる」、「濃煙を通過する」の基本動作により5つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練です。

